

## 第9回定例理事会議事録

日時 2012年12月20日 13:30～

場所 ITCビル2階 日本人会 会議室

出席者(理事)15名(傍聴)1名 欠席(理事)5名(監事)1名(傍聴)1名

### 議題

#### 1. 各部報告

##### 1. 教育部

梅田副部長

##### (1) 学校より

###### ① 日本人学校

- ・12月17(月)飯塚氏による進路講話をしていただいた。
- ・12月21日(金)終業式(冬季休業日 12月22日～1月6日)
- ・3学期始業式 2013年1月7日(月)
- ・小2学年児童2名、中2学年生徒1名が日本に帰国のため転出した。
- ・鉄棒、ブランコ等の遊具の修理を全て完了。

###### ② 幼稚部

- ・終業式、冬季休暇期間、3学期始業日は日本人学校と同じ日程。
- ・2013年度入園説明会:1月17日(木)15:30～16:00

###### ③ 補習校

- ・冬季休業日 12月23日(日)～2013年1月4日(金)
- ・書初め大会 1月5日(土)／12日(土)

###### ④ 事務局

- ・図書室エアコンを予算内で購入した。
- ・フジテックパシフィック様、シニアゴルフ様、宮川博子様より体育館建設資金として寄付金をいただいた。
- ・本年度の見積もり決算は、予算通りであった。

##### (2) P T Aより

###### ① 補習校より

- ・スポーツ大会は体育館建設中であるため児童生徒の安全を配慮しながら予定通り行う。
- ・今後保護者負担の増加を抑制して行く為に、利用者の少ない土曜日のバス運航の是非を検討して欲しい。

###### (3) 総領事館より

アメリカ国内での銃事件が相次いでいることから不審者の学校内への侵入、通勤、通学での安全対策について注意喚起がされた。

###### (4) 体育館建設委員会より

配布資料:体育館建設計画概要/長期資金 予定/Projection for 15 years/建設基金収支/体育館建設委員会議事録2012年11月15日/体育館建設工事費概

- ①現時点で推定される建設コストは予備費を入れて約1.66ミリオンドル。外務省の承認を得た計画を若干下回る。今後は募金活動に加え、企業への寄付依頼を進め、資金調達を図る方針が確認された。
- ②体育館建設基金の11月末残高は約335千ドル。2007年以降募金活動により集められた寄付金約57千ドルに加え学校資金より382千ドル供出されている。設計費用等104千ドルを支払済み。
- ③日本人会会報での報告内容について今後検討する。

### 【協議事項】

#### (1) スクールバスについて

##### ① 下学年のみのスクールバス乗車

未就学児と小学校低学年だけのバス乗車等を含む、バス利用における危険防止対策について今後継続的に協議する。

##### ② 飛散防止フィルム

海外子女教育振興財団からのアンケートにスクールバスの窓ガラスについての安全対策が項目に挙げられているが、アメリカ製のスクールバスの窓ガラス飛散防止に関しては安全対策が取られているため問題はないことが確認された。

#### (2) 来年度の幼稚部体制

2クラス設置を希望していたが、施設面、職員体制など受け入れ体制が整わず、現状のままとする。

#### (3) 授業不成立の場合の補習校時間給教員への待遇

予め授業料を徴収している補習校授業について、児童/生徒の欠席により授業が成立しない場合でも教員報酬は支払われる事が確認された。

#### (4) 利用者の少ない補習校数学授業のあり方について

今後協議して行く事が確認された。次回理事会にて、収支的な観点から必要な生徒数を会計部より報告、また補習校では、学年の枠組みを外して授業を継続可能かどうか検討の上報告する予定。

#### 2. 文化部

安部部長

##### (1) 女子会

11月21日水曜日に女子会として、事務局で秋祭りのヨーヨー作りの手伝いを行った。12月6日木曜日、カリフォルニア・ピザ・キッチンにて、11時半から13時半まで女子会を行った。参加者は理事2名を含めて9人で、食事をしながら今後の予定と活動内容について話し合った。女子会の活動としては毎月、食事を通じて会員同士の交流を深め、女子会に協力して頂いたレストランには会報誌のラッテでの女子会報告でお店の宣伝を載せることで貢献しながら、コミュニティーの繋がりを広げていきたいと考えている。1月はテ・キエロでティーパーティを予定しており、2月は週末にファミリー向けに野外で、また3月は夜に女子会を開くなど幅を持たせて、新しい人の参加を呼びかけていきたい。

#### (2) アート&クラフト(2013年3月9日土曜日、Nikkoにて)

第1回ミーティングを12月11日火曜日、13時から日本人会の事務局にて行った。現在のところ昨年と同程度の9テーブルの参加申し込みを頂いている。今回からホワイトボードの貸し出しについては参加者から使用料金(5ドル)を徴収することとする。参加者の募集とプログラム小冊子の広告主の依頼を引き続き行う。第2回ミーティングは2月15日金曜日、1時から事務局で行う予定。

#### (3) GCWC

12月にGCWCの新しい代表が決まった。12月12日には里子の子ども達のためのリガル基金のイベントが行われ、日本人会のメンバーからも募金を頂いた。3月の日産ウーマンズ展に向けて今後準備を進めていく予定。

#### (4) 絆コンサート

今年5月に行った絆コンサートを引き続き同じような条件で来年も開催するか、またはこれまでの体育館建設や震災の募金目的から離れ、ホテル以外の場所での開催も含め赤字にならないことを前提とした純粋に会員への文化イベント提供と位置づけたものとするか、スポンサー募集を視野に入れ、今後総合的に実現性を検討していく。

#### 3. 商工部

茨木副部長

FAPPGよりフィリピン台風被害の為に、寄付についての会議報告と寄付要請のレターが届いた。

#### 4. 渉外広報部

鈴木部長

12月14日(金)12時00分より編集会議を開催。出席者:鈴木部長、熊谷副部長、福本総務副部長、篠原、芳賀、小熊編集委員。

(1)秋祭りの反省会報告を掲載予定。

(2)会員より、生活便利情報等の掲載依頼の願いがあった。

#### 5. 青年部

遠山部長

11月24日:日本人会創立40周年代33回秋祭りが晴天の中無事終了する事が出来た。日本人会関係者、日本人学校、補習校、好祭会、実行委員会及びスポンサー企業、大谷アクアマインドコーポレーション他、ボランティアでお手伝いいただいた皆様方に青年部から心よりお礼を申し上げます。有難う御座いました。

11月25日:朝9時より理事の方々の協力により後片付けし、12時前に終了。又、売れ残ったビールを後片付けにご協力頂いた皆様に販売、完売した。追って売れ残り物販、ゲーム商品の区分け作業を行なった。

12月3日:駄菓子を含む、区分け終了商品を日本人会事務局にて販売開始。バンクオブグアム、グアム観光局、ペプシへ寄付協力への感謝状を手渡しに行く。

12月4日:ITCに感謝状と神輿保管スペース提供のお礼をお渡しした。その他、IP&E、MORRICO、DOM'S LAWN MAINTENANCE、RUBBISHMAN、DETRY PLUMBINGに感謝状をお届けした。

12月10日:ミッドパック、IWS、STコーポレーション、タイファへ感謝状をお届けした。

12月12日:秋祭り反省会をトニーローマ様のご協力の下行った。参加者12名と寂しい反省会だったが、色々貴重なご意見を頂いた。この反省会のご意見はラッテ2月号に記載させていただく。

12月14日:アンブロス[パドワイザー]へ感謝状をお届けした。

12月15日:サニーホールセールに感謝状をお届けした。

### 【売れ残りの物販に関し】

多量に売れ残った玩具類の処理に際し、秋祭り開催にご協力頂いた各村へ、一部寄付提供の提案があり承認された。

#### 6. 総務部

田中部長

(1)グループ健康保険加入者 44名 前月比 1名増

(2)11月19日、仙台空港国際化利用促進協議会関係者の皆様(宮城県副知事、観光局、仙台空港関係者)が日本人会事務局へ表敬訪問の為に訪された。

(3)11月27日、日本のグアム政府観光局より3名のビジターがあった。

(4)12月5日、アメリカン・メディカルセンターから、気管支炎喘息についての講義開催の情報提供があり、確認後、会員向けに配信にてご案内した。

(5)秋祭りにて売れ残った玩具類を、「事務局のみの市」にて販売中。

(6)東京在住の赤塚宗久様より、書籍、DVDの寄贈があった。日本人会よりお礼状を発行した。

(7)次回理事会は、2013年1月17日(木)の開催予定。

(8)2013年新年会について、内容、式次第の確認報告をした。

(9)先般開催されたピースリング主催の戦没者慰霊碑清掃活動事業について、次年度へ向け日本人会サイドの引受け部署を決めるにあたり、後日理事監事全員の意見集約を行って決定する旨、確認をした。

#### 7. 会計部

谷部長

##### (1) 11月末締会計報告 会費納入状況

11月		累計	
法人	115社	\$	99,410
個人	231名	\$	8,450
準会員	19名	\$	420
合計		\$	108,280

(2)日本人学校体育館建設計画についての概要と基金収支についての説明がなされた。

#### II. 総領事館より なし。

書記 田中 真行